

ポッチャ

○ゲームの進め方

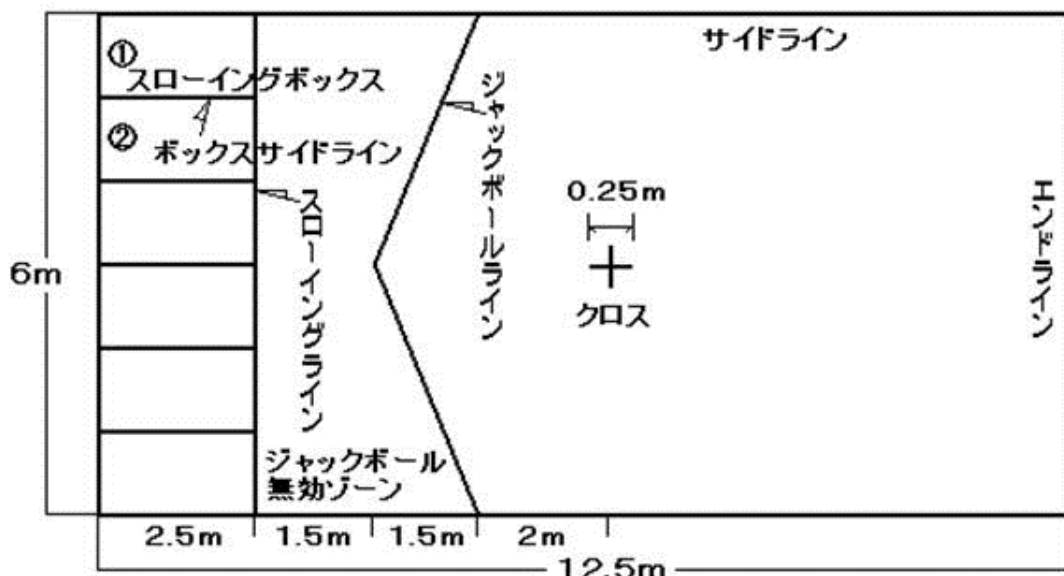
ポッチャは、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのカラーボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

1. コイントスで先攻後攻を決め、先攻サイド(赤)がジャックボールをコートに投げ入れます。(ジャックボールがジャックボール無効ゾーンに止まった場合は、相手側にジャックボールを投げる権利が移ります。)
2. 続けてジャックボールを投げた選手が最初のカラーボールを投げます。
3. 次に相手側のサイド(青)がカラーボールを投げます。
4. それ以降は、ジャックボールより遠い距離にあるカラーボールの側がボールを投げます。赤・青どちらが遠い距離にあるかは審判が判断し、選手に指示板で伝えます。
5. 両チームがすべてのカラーボールを投げ終わった時点で1エンド終了し、得点をつけます。
6. 2から5を個人戦・ペア戦は4エンド、チーム戦は6エンド行います。2エンドは青、3エンドは赤、4エンドは青と、交互にジャックボールを投げてゲームを開始します。
7. すべてのエンドを終了した時点での赤・青の得点を計算し、勝敗を決めます。同点の場合は、ジャックボールをクロスに置いた状態からタイブレークを行い、勝敗を決めます。

○得点の数え方

ジャックボールに一番近い相手のカラーボールよりも、さらに近い位置にある自分のカラーボールが、それぞれのボールにつき1点となります。異なった色の2個以上のカラーボールがジャックボールから一番近い位置に等距離にあった場合は、各ボールにつき1点となります。

○コート



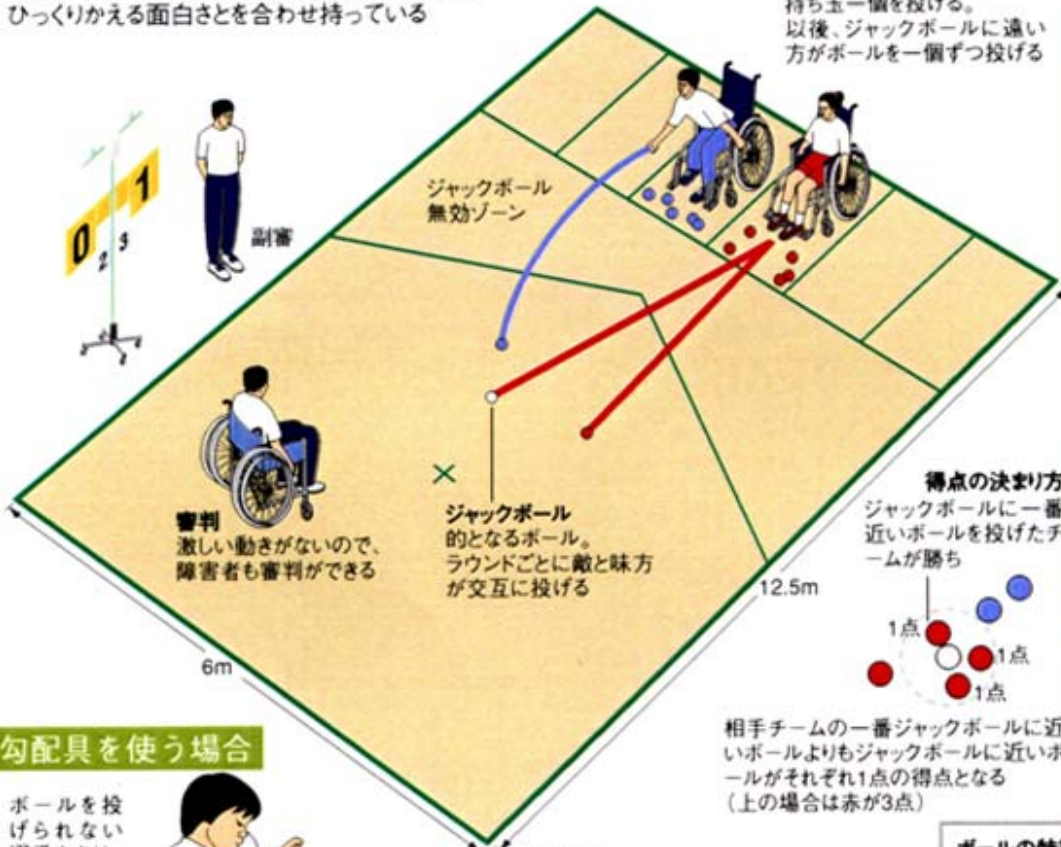
ボッチャは、どれだけ多くのボールを的（ジャックボール）に近づけられるかを競う競技である

個人競技とペア、3人ずつのチーム対抗の三種類の種目があり、男女混合で行われる。パラリンピックでは重度の脳性まひ者の競技となっているが、障害を持つ・持たないの区別なく楽しめるわかりやすさと、作戦次第でそれまでの結果がひっくりかえる面白さとを合わせ持っている

個人競技の場合

〔先攻・赤〕
ジャックボールと持ち玉一個を投げる
〔後攻・青〕
持ち玉一個を投げる。
以後、ジャックボールに近い方がボールを一個ずつ投げる

ボッチャの逆転術



得点の決まり方
ジャックボールに一番近いボールを投げたチームが勝ち
1点 1点 1点

相手チームの一番ジャックボールに近いボールよりもジャックボールに近いボールがそれぞれ1点の得点となる
(上の場合は赤が3点)

勾配具を使う場合

ボールを投げられない選手たちは、ランプスと呼ばれる器具と介助者の助けのもとでボールをころがす



ボールの特徴
表面のぬい目のせいで独特のころがり方をする

TUBE GRAPHICS